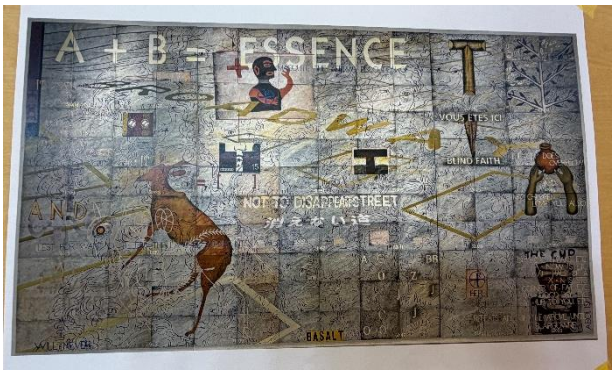
さつき学園だより

令和８年１１月１６日号

３年　アートワークショップ

１１月６日（金）に展覧会のキュレーター檜山さんと、一般社団法人日本現代美術振興協会の方に学校に来ていただき、3 年生の子どもたちがアートワークショップを体験しました。100 枚ほどのピースに分けられた大きな作品を一人 1 枚ずつ選び、白い紙に模写します。その紙をまた元の絵画のように並べるのです。短い時間にもかかわらず、線の特徴や、色合いをよく見て、真剣に描きうつす姿に、協会の方々も、「デッサンカも素晴らしいですね。」と感心されていました。

こどもたちの作品は、11 月 20 日（金）～12 月 23 日（水）まで京阪電車中之島線「なにわ橋駅」地下 1 階コンコース アートエリアに展示されます。（月曜休館） 大阪府が所蔵している作品も展示されるそうです。



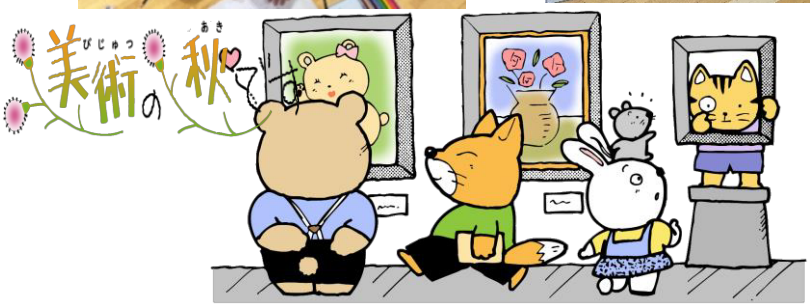


イマンツ・ティラース『アラブルロード』2000 年











Let's Make an Exhibition, The Moment You Meet Art,
"The Peace Flavor Petil"

つくってみようよ展覧会 アートと出会う瞬間

ペテイルはピースフレイバー

マリアム・イサック	Mariam ISHAQUE
イマンツ・ティラース	Imants TILLERS
田中一光	Ikko TANAKA
秋山庄太郎	Shotaro AKIYAMA
入江泰吉	Taikichi IRIE
植田正治	Shoji UEDA
葛西宗誠	Sosei KUZUNISHI
菅井日人	Nitto SUGAI
関口哲也	Tetsuya SEKIGUCHI
高田誠三	Seizo TAKADA
立木義浩	Yoshihiro TATSUKI
古澤和子	Kazuko FURUSAWA
前田真三	Shinzo MAEDA
三木淳	Jun MIKI
渡辺義雄	Yoshio WATANABE
アンセル・アダムス	Ansel ADAMS
ジョン・ウィンバーレイ	John WIMBERLEY
ウィリアム・エグルストン	William EGGLESTON
ウィリアム・ガーネット	William A. GARNETT
アンリ・カルティエ＝ブレッソン	Henri CARTIER-BRESSON
ラルフ・ギブソン	Ralph GIBSON
マイケル・ケンナ	Michael KENNA
エメット・ゴーウィン	Emmet GOWIN
レン・ジェンシェル	Len JENSHEL
アルフレッド・スティーグリッツ	Alfred STIEGLITZ
ユージン・スミス	Eugene W. SMITH
デヴィッド・ハンソン	David T. HANSON
ジョン・ファール	John PFAHL
リチャード・ミズラック	Richard MISRACH
ダニー・ライアン	Danny LYON

Guest Curator: Hiyama Maaru

「夏のワークショップ」に参加されたみなさん
大阪市立中央小学校2年生のみなさん
大阪市立東淀中学校3年生のみなさん
守口市立さつき学園3年生のみなさん

Everyone who participated in
the "Summer Workshop"
Second-grade students of
Osaka Municipal Chuo Elementary School
Third-grade students of Osaka Municipal
Higashiyodo Junior High School
Third-grade students of
Moriguchi Municipal Satsuki Gakuen

2026年11月20日|金|ー12月23日|水| アートエリアB1
入場無料／月曜休館

2026.11.20.- 12.23. at Art Area B1.
Admission Free. Closed Mondays.

アートってどんな価値があるんでしょう？

この問いは、「私たち自身にはどんな価値があるんだろう」というくらい真正面から向き合うには難しいものです。けれど、私たちが未来のことやお金のことだけを考えて生きているわけではないのと同様に、アートの価値を歴史的価値や貨幣価値だけで捉えるのはつまらないことだと思いませんか？

本展は、大阪府が所蔵している美術作品「大阪府20世紀美術コレクション」の作品をつかったワークショップを行い、そこでできたものも作品と同様に展示します。大阪府下の3校の学校の先生と話し合いながら、オリジナルのワークショップをつくりました。まだ美術館に行った経験がない生徒がほとんどの中で、初めてアートに出会う瞬間を本展はとらえます。きらめく思い出は個人と展覧会のなかに：

タイトルにあるペティルは「きらめき」を意味するフランス語・ペティラントからの造語。ピースフレイバーはひとさじそのようなエッセンスが香る展覧会という意味合いです。もちろん、「つくってみようよ展覧会」というからには、鑑賞者となるみなさんも展覧会の一部をつくる仕掛けを会場に用意しています。

作品は鑑賞と関与を通じてこそ輝くもの。これまで大阪府が収集してきたコレクションが本展を通じ、新たな価値を見出されることで、これからを描く青写真となれば幸いです。

ゲストキュレーター
檜山真有
1994年大阪生まれ。キュレーター。東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科修了。2023年よりアートセンターBUGにて勤務。越後妻有里山現代美術館MonET連続企画展ゲストキュレーター(2023–26)。主なキュレーションに「谷原菜摘子の北加賀屋奇譚」(2023)、藤岡亜弥個展「Forget Me Not」(2026)など。

What is the value of art?

This is a difficult question to confront head-on, much like asking ourselves, "What is our own value?" Yet, just as we do not live our lives thinking only about the future or about money, don't you think it is limiting to consider the value of art solely in terms of its historical or monetary value?

This exhibition features workshops using works from the Osaka Prefectural 20th-Century Art Collection, held by the Osaka Prefectural Government, and displays what is created during the workshops alongside the artworks themselves. We developed these original workshops through discussions with teachers from three schools in Osaka Prefecture. With most of the students having never visited an art museum before, this exhibition captures the moment when they encounter art for the first time.

Sparkling memories are held within each individual and within the exhibition. The "Petil" in the title is a coined word derived from the French word pétillant, meaning "sparkling." "Peace Flavor" suggests an exhibition infused with just a hint of that essence. And, of course, since this is titled Let's Make an Exhibition, we have prepared ways for you, the visitors, to become part of the exhibition by creating part of it yourselves.

Artworks truly come to life through viewing and engagement. We hope that, through this exhibition, the collection assembled by the Osaka Prefectural Government over the years will take on new value and serve as a blueprint for the future.

Guest Curator
Hiyama Maaru
Born in Osaka in 1994. Curator. She completed her Master's in Curatorial Studies at Tokyo University of the Arts. Guest curator for the Echigo-Tsumari Satoyama Museum of Contemporary Art MonET's exhibition series (2023–26). Major curatorial projects include *Natsuko Tanihara's Kitakagaya Mystery* (2023) and Aya Fujioka solo exhibition *Forget Me Not* (2026).



ハトは、ワークショップ「まねっこポスターをつくってみよう」(ガヂホ＝田中一光×一羽の白い鳩)「ロシアアヒルズ」より、大阪市立中央小学校の生徒のみんなの作品から切り抜きました！

つくってみようよ展覧会 アートと出会う瞬間 "ペティルはピースフレイバー"

Let's Make an Exhibition, The Moment You Meet Art "The Peace Flavor Petil"

会期	2026年11月20日(金)～12月23日(水)
時間	11:00～18:00 ※12月11日(金)～12月23日(水)は20:00まで開館
休館	月曜日 ※11月23日(月・祝)は開館、11月24日(火)休館
入場料	無料
会場	アートエリアB1 530-0005 大阪市北区中之島1丁目1-1 京阪電車なにわ橋駅地下1階
アクセス	京阪電車中之島線「なにわ橋駅」地下1階コンコース なにわ橋駅1番出入口すぐ／Osaka Metro「淀屋橋駅」「北浜駅」から徒歩約5分
主催	大阪府
実施主体	一般社団法人日本現代美術振興協会
協力	大阪府立江之子島文化芸術創造センター[enoco]

令和8年度 大阪府所蔵美術作品活用活性化事業

Date: 2026.11.20 Fri.–12.23 Wed. *Closed Mondays except Nov. 23; closed Nov. 24.
Hours: 11:00–18:00 *Open until 8 pm from Dec. 11 to 23.
Admission: Free
Venue: Art Area B1
B1F, Naniwabashi Station, Keihan Railway 1-1-1
Nakanoshima, Kita-ku, Osaka 530-0005
Organizer: Osaka Prefecture
Presented by Association for the Promotion of Contemporary Art in Japan
Cooperation: Enokojima Art, Culture and Creative Center, Osaka Prefecture / enoco
2026 Project for the Promotion and Utilization of the Osaka Prefectural Government's Art Collection

TEL: 06-6777-8303 E-mail: info@enoco.jp https://www.enoco.jp

O+(オープラス)
アートスタンプラリー2026
開催中！
アートを巡って、大阪の魅力を再発見！
大阪府が所蔵する約7,900点の
「大阪府20世紀美術コレクション」
の一部が、まちなかに登場。
展示スポットを巡ってスタンプを集めると、
先着・抽選でアートな賞品が
手に入ります。

大阪府
APCA JAPAN
enokojima creates osaka enoco
O+

この事業は宿泊税を活用して実施しています